

科目名		3DインテリアII			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	コーディネーターの実務に必要な、プレゼンテーションの必要性と技法を理解し、コンペ作品等に対応する実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 課題制作を中心に、見せ方、描き方学び、就活に活かす作品を作る。 3. 条件に則したプレゼンツール作成の基本を理解する。				
学習目標 (到達目標)	インテリアコーディネーターの業務においてプレゼンテーションの重要性を理解します。3Dインテリアデザイナーの基本操作を学びながら、インテリアコーディネートの基本知識とセンスを身に付け、訴求力のあるプレゼンテーションボードをつくるテクニックを学びます。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 ②3DインテリアデザイナーNeo3				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ポートフォリオの制作 ①ポートフォリオの表紙制作 ②課題のブラッシュアップ (店舗併用住宅の完成) ③就活に活かせる作品集としてまとめる			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 レイアウトや立体構成の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
2	マンションのインテリアコーディネート ①クライアントの要望、物件の条件等を理解する。 ②インテリアスタイルを決定し、デザインにどう反映するか考える。			法を身に付ける。 目標：工程、精度とも実務に活かせるレベルを目標とする。 準備：配布プリント	
3	③イメージボードを作成し、色彩計画・エレメントのイメージをまとめる。 ④家具、住設、窓装飾などインテリアエレメント (要素) を決める。 ⑤3Dパース、プレゼンシート制作			法を身に付ける。 目標：工程、精度とも実務に活かせるレベルを目標とする。 準備：配布プリント	
4	課題プレゼンシート最終締切 6月中旬			プレゼンシートを完成させ提出する。	
5	プレゼンテーション			方法：制作したプレゼンシートを使用し、PowerPointでのプレゼンテーション技法を身に付ける。 目標：実務に活かせるプレゼン技法を習得する。	
6	課題発表			発表：校内コンペを実施 講評→解説	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			マンションのインテリアコーディネートを通じ、インテリアデザインの表現と、訴求力のあるプレゼンシートの制作を行う。設計事務所と協力し、産学連携の課題である為、実務に即した実習内容となる。トレンドの分析力、マーケティング要素。条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。企画内容の基本を固め、各作業工程の演習をしっかり積み上げることを重視し作品精度を上げていく。個人作業が主	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	インテリアコーディネーターの業務における歴20年				